

## 洗剤類の詰め替え等に伴う事故が発生しています！

～洗剤類の詰め替え、移し替えにおける安全性に関する調査を実施しました～

容器の再利用の促進や経済的であることから、様々な詰め替え用製品が普及しています。なかでも、洗剤類は日常的に使用され、詰め替え用製品として身近なものの一つです。一方、開封時に洗剤がはねて目に入った、アルカリ性洗剤を入れた飲料用アルミ缶が突然破裂してやけどを負ったなど、詰め替えや移し替えに伴う事故が発生しています。



そこで、東京都では、洗剤類の詰め替え等に係る事故を未然に防止する観点から消費者アンケートと、試験による調査を実施しました。

その結果をお知らせするとともに、消費者へのアドバイスや事業者団体への要望等を行います。



※本調査において、「詰め替え」とは、詰め替え用製品の中身をその製品の本体の容器に入れることとし、「移し替え」とは、その製品の本体の容器とは異なる別の容器に入れることとしました。右図参照【報告書 P.3】

### 調査結果

#### 1. 飲料用容器などへの移し替えによる事故のリスクを知らない人が約 4 割

「食品や飲料用の容器への移し替えが、誤飲や容器変形など事故につながる可能性があること」を「知らなかった」と回答したのは 39.2% (667 人) であった。【報告書 P.8】

#### 2. 詰め替え又は移し替え時に危害やヒヤリ・ハットが発生

「こぼす」に関する事例が最も多く、「こぼれた洗剤で転びそうになった」事例があった。その他、「はねて目に入りそうになった」「開封時に容器で指を切った」「類似容器に移し替えてからスプレーをしたら霧状に噴霧され吸いこんだ」「ペットボトルに入れておいたら誤飲した」などの事例があった。【報告書 P.9-12】

#### 3. 市販のスプレー容器の使用に注意

市販のスプレー容器に移し替えて噴出すると、本体製品で噴出した場合よりも拡散範囲が広くなったり、噴霧にムラが出来たりする様子が観察された (右図)。【報告書 P.25-26】

#### 4. 洗剤類がアルミボトル切片と反応し、発泡や変色

洗剤類をアルミボトル切片に付着させ、その様子を確認したところ、気泡の発生やアルミボトル片の変色が観察された。洗剤の成分とアルミとの化学反応で水素が発生するため、蓋などで密閉された容器では破裂する危険があり、また、容器が溶解し洗剤が漏れる危険が示唆された。【報告書 P.26-27,29-30】

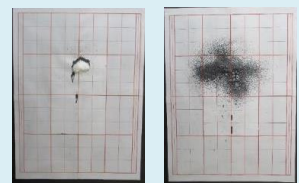
### 調査方法

- ・アンケートは、自宅で使用するために洗剤類の詰め替え用製品を直近 1 年以内に購入した 20 歳以上の都内在住者を対象にインターネットで調査 (回答者数: 1700 人)
- ・試験は、詰め替え用製品の開封や詰め替えの再現実験、移し替えの再現として市販スプレー容器などに入れて使用した実験、アルミボトル片と洗剤類との反応の観察を実施。併せて注意事項などの表示調査を実施

#### 市販スプレー容器へ移し替えた再現実験結果



再現実験の様子



左: 本体製品での拡散範囲  
右: 市販スプレー容器での拡散範囲

【裏面へ続く】

詳しくはこちらをご覧ください。

東京暮らしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp>



【問合せ先】

東京都消費生活部生活安全課

電話 03-5388-3082

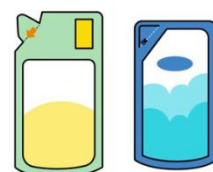
## 消費者へのアドバイス

### ●開封するとき

切り口や角で指を切ってしまう事例がみられますので、取扱いに注意しましょう。

開封にハサミ等の使用を指定している製品は、無理やり手で開封しないようにしましょう。うまく切れない場合があり、つめ替えるときにこぼれる原因になります。

また、開封の際にはねた洗剤が目に入らないように、顔を近づけ過ぎないようにしましょう。



### ●つめ替えるとき

★注意事項に従い本体製品の容器につめ替えましょう。

本体製品の容器は、中身の特性に合うようにつくられており、取扱いに必要な注意事項や応急処置などについても記載されています。

本体製品以外の容器では、このような危険があります

- ・市販のスプレー容器では、想定していたより広い範囲に噴霧される場合があります。吸い込んだり、眼に入ったりするおそれがあります。
- ・ペットボトルなど飲料や食品の容器に入れて置いておくと、誤飲事故につながるおそれがあります。
- ・アルミボトルなどの金属製容器では、腐食して漏れたり、ガスが発生して蓋などで密閉していた場合は破裂するおそれがあります。
- ・塩素系製品と酸性製品が混ざると有毒な塩素ガスが発生します。「まぜるな危険」の表示などを確認し、注意事項に従いましょう。



★こぼさないように、安定した場所で慎重につめ替えましょう。注ぎやすいように注ぎ口に立体加工がされた製品や本体製品の容器に注ぎ口を差し込める製品などもあります。

### ●眼鏡やゴム手袋などを使用しましょう。

開封やつめ替えのときに洗剤がはねて目に入らないように眼鏡などを使用しましょう。

また、こぼれたりして手などに付着することで皮膚障害にいたるおそれもありますので、ゴム製の手袋などを使用しましょう。

## 要望・情報提供

安全な製品の開発・普及等についての取組を更に強化する等、洗剤類のつめ替え及び移し替えにおける事故防止に向けた安全対策を推進するため、製造事業者団体、販売事業者団体、国等へ要望・情報提供を行います。

報告書はホームページからダウンロードできます。

東京くらしWEB



[https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/test/detergent\\_press.html](https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/test/detergent_press.html)